

会 告

社団法人 日本設計工学会東海支部シンポジウム

21世紀の水素社会の幕開け —「燃料電池」—

日 時：平成15年5月30日(金) 13:00～16:20
会 場：名城大学理工学部11号館5階 特別教室
電話：052-832-1151
〒468-0073 名古屋市天白区塩釜口1-501
(地下鉄鶴舞線「塩釜口」下車徒歩5分)

趣 旨：2002年12月の世界初の燃料電池車実用化(トヨタ、ホンダ)で21世紀の水素社会到来が強く印象づけられました。21世紀の水素社会はどうなるか、技術進歩の速い時代に遠くを見通すことはできませんが、21世紀最初の20年間を展望し、来るべき水素社会への対応を考えてみましょう。

プログラム
(1) 13:00～14:00
「水素社会への架け橋としての燃料電池」
燃料電池開発情報センター 常任理事
筑波大学 名誉教授 本間 琢也 氏
(2) 14:10～15:10
「トヨタの燃料電池自動車開発について」

トヨタ自動車株式会社 FC開発センター
FC企画室 室長 河合 大洋 氏
(3) 15:20～16:20
「定置用燃料電池の現状と展望」
東芝インターナショナルヒュエルセルズ株式会社
プラント担当部長 奥村 実 氏
定 員：150名
参 加 費：会員・協賛会員 4,000円、会員外 8,000円、学生
無料（資料代を含みます）
申込方法：氏名、勤務先、所属学協会名、参加券送付先(含FAX番
号)をご記入の上、当支部へ郵便、ファクシミリ、また
はE-mailで5月23日(金)までにお申込み下さい。参加
費の振込先等は、申込み受付後に連絡します。
申 込 先：(社)日本設計工学会東海支部
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学
院工学研究科 電子機械工学教室 気付 TEL&FAX
(052)789-2790
e-mail : t-jse@nuem.nagoya-u.ac.jp